

高校に主権者教育「出前」



たかまつ
ななさん

笑いの力で政治に関心を持つてもらいたい!。お笑い芸人のたかまつななさん(22)は、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられる7月10日投票の参院選における高校生らに主権者教育の出前授業を行うため、株式会社「笑下村塾」を設立した。授業は「笑える!使える! 政治ショー」がコンセプト。「今はとにかく多くの学校で実演し、コンテンツへの信頼を高めたい」と、今月から本格的に全国各地の学校に出向く。

【大村健一、写真も】

政治
18
しようよ

お笑い芸人 株式会社化

ティーパン組に出演している。慶應大総合政策学部を卒業後、現在は同大学院で公共政策やメディア論を学びながら、東京大大学院でも講義を取っている。

元々、「社会問題を広く伝えたくて芸人を目指した」という。「70年ぶりに選挙制度が大きく変わったのに、高校生が政治に興味を持つようなコンテンツがない」と相談し、「3分間で分かる民主主義」や、人気カードゲームの「人狼ゲーム」を悪い政治家を見抜くルールに仕立てた推理ゲ



高校生向けの18歳選挙権の授業を実演するたかまつさん(右から2人目)、右端は下村教授=東京都新宿区で

夫をこらした。大学時代に文科省が作成した主権者教育副教材に関わった林大(政治学)は「18歳選挙権の出前授業はNPO法人などが携わる例が多く、芸人、株式会社が取り組むのは珍しい。学校からの謝金だけで収益を上げるのは難しいが、外部が学校に関わることは刺激になる」と話す。

既に高校や大学約10校から参院選前の出前授業の希望があり、たかまつさんは「ビジネスモデルを作つて利益を出せば、多くの企業が参入し、面白い政治教育のコンテンツが出てくる。将来的には組織化し、芸人を講師に養成して学校に派遣できる仕組みを作りたい」と意気込む。出前授業の依頼は笑下村塾のホームページ(<http://www.shoukasonjuku.com>)から。